

# 東京大学医学部附属病院にて抗微生物薬を投与された方と ご家族の方へ

## 【研究課題】

抗微生物薬の適正使用に関する研究（審査番号 2020171NI）

## 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院感染症内科、薬剤部  
研究責任者 岡本耕（感染症内科・特任講師）  
担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

## 【研究期間】

承認日～2024年3月31日

## 【対象となる方】

2005年1月1日～2023年3月31日の間に当院で抗微生物薬を投与された方

## 【研究の目的】

抗微生物薬が効かない（「薬剤耐性」と言われます）微生物による感染症は世界的な緊急の課題と認識されています。抗微生物薬の適正な使用は、薬剤耐性の広がりを防ぐ重要な戦略の一つですが、一般に30-50%の使用は不適切（例えば、抗菌薬はそもそも有効でない風邪に抗菌薬を処方する、など）とされます。当院では、感染症内科、感染制御部、薬剤部、細菌検査室などが協力して抗微生物薬の適正使用を進めておりますが、これまでの活動を検証することで、今後の更なる改善を要する点と改善法を探ることを目的としています。

## 【研究の方法】

当院での抗微生物薬の使用量および、抗微生物薬を使用された方の診療録から処方された状況、検査結果（微生物検査など）、感染症の診断・治療・予防について適正・不適正な使用に関連すると思われる必要な情報の収集を行います。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。

これまでの診療で診療録に記録されている臨床情報、微生物検査、血液・尿をふくむ体液検査結果、画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

## 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのな

いよう、慎重に取り扱う必要があります。収集した情報・データ等は、解析する前に氏名・生年月日等の個人情報削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにします（このことを匿名化といいます）。匿名化した上で、研究責任者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行います。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先に 2023年12月31日までにご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表します。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、コンピュータ上のデータを完全に削除することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

#### 【研究の費用】

この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院感染症内科の運営費から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

202\*年\*月

#### 【問い合わせ先】

連絡担当者：岡本耕  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
東京大学医学部附属病院 感染症内科  
電話：03-3815-5411（内線 37281）  
e-mail：kokamoto-tky@umin.ac.jp